

TrueImage

スケジュールで増分バックアップや差分バックアップができる。

Windows 上や CD ブートで、ファイルごと、ディレクトリごと、ディスクをまるごとリストアができる。

また、CD ブートでバックアップも可能。

サイズが異なるディスクにリストアする

基本的にバックアップ元の実サイズより大きいディスク、パーティションにリストア可能。実サイズより小さいとリストア不可。

手順

サイズを大きくするときも小さくするときも手順は同じ。

ディスク全体をリカバリせずに、パーティションごとにリカバリ先を設定する。

Windows のシステムドライブを小さいディスクにリストアする手順を例にする。

リストアするバックアップファイルを選択後、「ディスクまたはパーティション全体をリカバリする」を選択する

リストアするパーティションを選択する。この時、ディスクにチェックを入れるとディスク全体をリカバリする事になってしまうので注意。

全てのパーティションをリカバリする場合でも、ディスクをチェックせずに、各パーティションを選択する。

パーティションごとのリストア設定をする。

デフォルトとしてリストア元のパーティション情報を引き継いでくれるの。

Windows のシステムディスクをリストアする場合、

「システムで予約済」になっている 100MB 程度のパーティションはサイズ等は変えずにそのままにする。

それ以外のパーティションは実サイズより小さくならなければ、自由に設定可能。

アーカイブ情報の保存場所

C:\ProgramData\Acronis\TrueImageHome\Database\archives.xml

にアーカイブ情報が保存されている。

バックアップ先を変えたり、手動でバックアップファイル先を削除したりしても、

このファイルにアーカイブ情報が残っていて、消したはずのバックアップ先ディレクトリが復活したりする。

このファイルを削除したあとで、バックアップファイルのリカバリを選択すると、ファイルが再構成される。